

第34回（2021年度）学生奨学論文 募集要項

1. 応募資格

個人でもグループでも応募可能です。

大阪経済大学に在籍する学部生。一人または1グループにつき1論文とします。

※ただし、大阪経大会ホームページや印刷物による公開の許諾を条件とします。科目等履修生は該当しません。

2. 論題

自由論題です。各自で自由に論題を設定してください。

※論文については、先行研究を十分に踏まえて作成してください。

3. 原稿の体裁

分量はおおむね、刷り上りがA4版横書きで、図表・統計資料を含めて10ページ程度とします。

ただし、表紙、要約、目次は原稿枚数に入りません。なお、作成にあたっては、原稿用紙（Word形式）を学会ホームページに掲載しますので、その様式を使用してください（6月に掲載予定）。

【注意】以下の体裁を守らない場合は審査の対象外となります。

- (1) 1ページ 40字×40行
- (2) 表紙→要約→目次→本文 の順序で作成
- (3) 表紙、800字程度の要約、目次を作成
- (4) 本文にはページ数を表示する
- (5) 論文執筆に利用・引用した文献および資料はすべて、脚注や参考文献として表示すること
※記載がない場合、盗用とみなされることがあります。
- (6) 論文内（データ等含む）に謝辞や指導教員等がわかる情報は一切入れないこと
- (7) グループ研究の成果で個人が応募する場合、関係者の承諾を得ること（承諾書の提出義務）
- (8) 応募は未発表の論文であること
- (9) 過去の論文を発展させ、過去の論文の結論をより確かなものとできるのであれば、未発表の論文として応募できる（本文初めに「本論文は、20xx年度学生奨学論文に応募した原稿を基に作成したものである」などの記載を入れる）
- (10) 共同論文の場合は、全体の構成をよく考え、各章で同じ内容になっていないかなど、確認すること
- (11) 誤字脱字がないか必ずチェックをすること

4. 提出について

※不備がある場合は、審査の対象外とします。

提出期間：2021年9月27日（月）～10月1日（金）

受付時間 10:00～12:30、13:30～16:00 ※厳守（上記期間を過ぎての提出は認めません）

提出先：大阪経大会事務局（J館3階 研究支援・社会連携課内）

次の(1)(2)両方の提出が必要です。

- (1) 下記の提出物 ①～③をプリントアウト（印刷）し、大阪経大会事務局へ提出してください。
- (2) 「①学生奨学論文申込票」、「②論文原稿」のデータをメールに添付して、大阪経大会へ送信してください。 大阪経大会メールアドレス：gakkai@osaka-ue.ac.jp

提出物：大阪経大会ホームページに掲載の提出原稿様式（Word形式で、拡張子は.docx）を使用すること。

①学生奨学論文申込票（1枚）・・・6月に学会ホームページに掲載予定。

ダウンロードした書式に入力し、プリントアウト（印刷）して、論文使用許諾に自署したものを提出

②論文原稿（1部） プリントアウト（印刷）した原稿

③関係者の承諾書 ※原稿の体裁（7）に該当する論文のみ

5. 審査

本学専任教員で構成する審査委員会が行います。

6. 結果発表

2021年12月に受賞発表・表彰式を開催します。

7. 表彰と副賞

■参加賞 図書カード5千円分

※個人応募の場合は応募者本人に、グループ応募の場合はグループに図書カード5千円分を差し上げます。

※ただし、審査委員会において審査対象外と判断された論文については、参加賞は出ません。

※図書カードは後援会の協賛により贈呈します。

■12月に受賞発表・表彰式を開催し、入賞者へは賞状および副賞を授与します。

各賞と副賞は以下のとおり。

〔特 選〕 副賞 奨学金20万円 および 図書カード5万円分

〔入 選〕 副賞 奨学金10万円 および 図書カード3万円分

〔佳 作〕 副賞 奨学金5万円 および 図書カード1万円分

〔努力賞〕 副賞 奨学金2万円 および 図書カード5千円分

※奨学金は経大学会、図書カードは大樟会（同総会）の協賛により授与します。



8. 入賞論文の公表

入賞論文については、「大阪経大学会通信」に概要を掲載するとともに、全文を複写・製本して、図書館で閲覧できるようにします。また、入賞論文については、学会ホームページにも公開します。

入賞論文の著作権については、大阪経大学会に帰属します。

9. 昨年の入賞状況 ※学会ホームページおよび図書館にて閲覧可能です。

〔特 選〕 該当なし

〔入 選〕 該当なし

〔佳 作〕 5本

〔努力賞〕 1本

10. お問い合わせ、ダウンロード先

大阪経大学会 事務局（J館3階 研究支援・社会連携課）

TEL 06-6328-2431（代）、FAX 06-6370-7847

E-mail : gakkai@osaka-ue.ac.jp

大阪経大学会ホームページ: <https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/>

論文を書くには

1. レポートとの違いを理解しよう

□自分なりのテーマを設定する

手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」第2章 p.28「3. 卒業論文のポイント」参照

<https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>

□引用文献を必ず書くこと

手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」第5章 p.69「文献・資料の引用」参照

<https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>

2. 応募することに意義がある

□学生時代のよい経験になるし、就職活動のPRにもなる。

3. 審査のポイントを押さえよう

□形式

形式はとっても大切

- ・原稿の体裁は、様式どおりか【注意】(1)～(11)を必ずチェックしてください
- ・文献引用は適切か
- ・“注”の付け方は正しいか

□内容

調査やフィールドワークはポイントが高い

- ・表現力・分析力・構成力はあるか
- ・主張が明確か、オリジナリティはあるか
- ・説得力があるか(結論まで整合性がとれているか)

共同論文の場合は、テーマの方向性を合わせ、論文構成に十分注意すること

4. スケジュールを立てよう

6月 ・テーマ設定

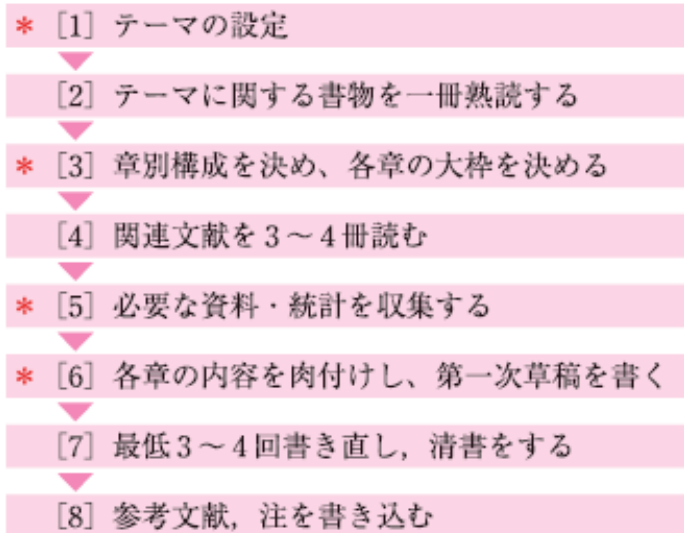
7月～9月 ・資料収集 ・下書き ・推敲

9月27日～10月1日 ・提出

5. 論文執筆のプロセス

手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」第2章 p.30参照

<http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>



(＊は特に重要なプロセス)



6. 論文執筆の手がかりとなる文献・資料

・手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」

<http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>

・本学図書館では、豊富な書籍・雑誌を取り揃えています。専門分野の書籍はもちろんのこと、論文の書き方について書かれた書籍も多数あります。文献や資料を収集の際に、是非利用してください。

7. 最後に

学生奨学論文は、書けば必ず自分の力になります。途中であきらめたくなることがあるかもしれませんが、頑張って最後まで仕上げましょう。

わからないことがあれば、気軽に質問してください。皆さんの応募をお待ちしています。

協賛：大阪経済大学大樟会（同窓会） 協力：大阪経済大学図書館
大阪経済大学後援会

大阪経大会事務局 gakkai@osaka-ue.ac.jp